



daitobo

第196期

第2四半期 株主通信

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

大東紡織株式会社

証券コード：3202

株主の皆様へ



代表取締役社長 山内 一裕

平素は大東紡織グループへの格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善、雇用・所得環境の改善が進むなど、引き続き景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国経済の減速などの影響により輸出・生産など一部では弱さも見られる展開となりました。

このような状況の中で、当社グループは「中期経営計画 Beyond 120th～120周年を超えて未来へ～」の最終年度を迎え、引き続き商業施設事業とヘルスケア事業については成長戦略への取り組みを強化する一方、繊維・アパレル事業については、中期経営計画を一部見直して取り組んだ構造改革の効果が現れつつあります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、繊維・アパレル事業の構造改革に伴う売上高の減少があったものの、採算性の改善や販売管理費の削減効果もあり、損益面では前年同期実績および平成27年6月発表の業績予想をともに上回る実績をあげることが出来ました。通期の業績予想についても、今後の事業環境に不透明さは残るものの、

平成27年11月10日付で前回発表予想比増収・増益の見通しを公表いたしました。

この間、平成27年9月末に、一時、株式時価総額が低下し指定替えに係る猶予期間に入ることとなり株主の皆様にご多大なご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。ただし、その後株価が回復し平成27年10月末には猶予期間は解除されております。

また、皆様のお陰様をもちまして、来年2月に当社創業120周年を迎えることと相成ります。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本株主通信に特集ページを設けましたので、ご一読賜れば幸いです。

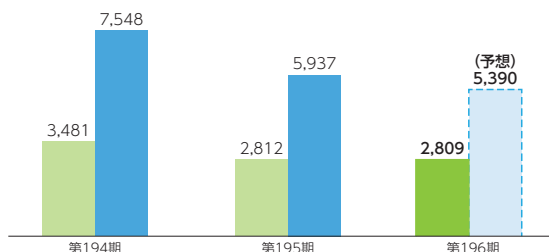
今後は、当社グループといたしまして、構造改革を完遂するとともに、アライアンスの強化を含めこれまでにないスピード感を以って当社の収益基盤を再構築し、成長力ある企業体に生まれ変わる所存でございます。株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年12月

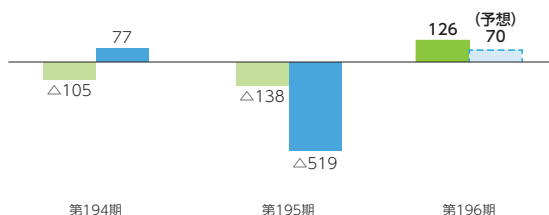
当第2四半期連結累計期間の業績の概要について

連結財務ハイライト

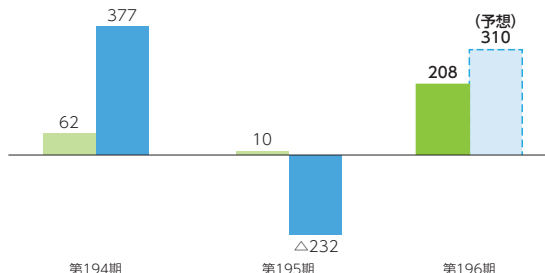
■売上高 ■第2四半期累計期間 ■通期 (単位: 百万円)



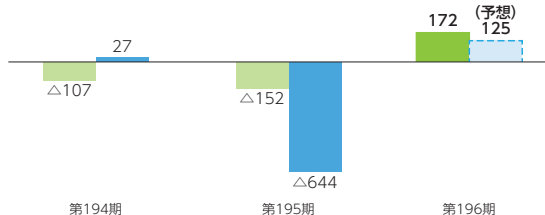
■経常利益 ■第2四半期累計期間 ■通期 (単位: 百万円)



■営業利益 ■第2四半期累計期間 ■通期 (単位: 百万円)



■親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ■第2四半期累計期間 ■通期 (単位: 百万円)



※上記予想は発表日現在で入手可能な資料に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

概要

繊維・アパレル事業の構造改革に伴い売上高は減少したものの、返品減少などによる採算性の改善や販売管理費の削減効果もあり、売上高は28億9百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は2億8百万円（前年同期は営業利益10百万円）、保有株式売却益の計上があり経常利益は1億26百万円（前年同期は経常損失1億38百万円）、さらに紳士服販売子会社の一部事業譲渡による特別利益64百万円の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億72百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億52百万円）と、損益面では各段階で前年同期比増益の黒字決算となりました。

事業別の業績は次のとおりであります。

■繊維・アパレル事業

売上高は構造改革に伴い減少したものの民需ユニフォー

ムの受注が好調に推移し前年同期比増収となりました。

■商業施設事業

静岡県下有数の商業施設「サントムーン柿田川」において、集客確保に努めたものの、一部テナントが一時的に休止したことが響き、売上高は前年同期比減収となりました。

■ヘルスケア事業

バイオ麻関連の寝具が売上を伸ばしたものの、夏場の猛暑が響き、売上高は前年同期比減収となりました。

■通期の見通し

前回発表予想を修正しました。前回発表予想と比べ、売上高は紳士服販売子会社のさよならセールの効果により増収となる見通しであり、原材料コスト増などを踏まえ営業利益は据え置きものの、保有株式売却益を計上したことにより経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益となる見通しです。

ビジネスフィールド

商業施設事業

心地よい生活文化を提案し続けるdaitoboの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。

・ショッピングモール



ヘルスケア事業

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。

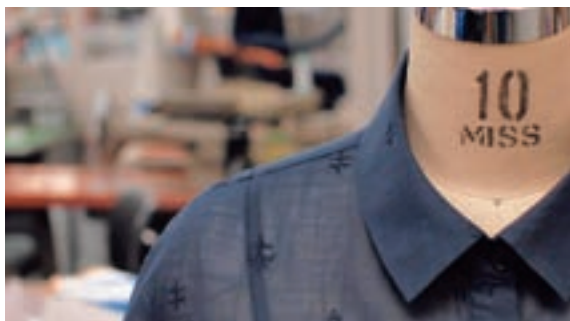
・健康素材関連 ・家庭用医療機器
・健康食品 ・一般寝装品



アパレルファッション・ユニフォーム事業

daitoboは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応じてまいります。

・官・民ユニフォーム ・生産管理型OEM
・ネット企画



海外関連事業

主に中国の上海を中心に、東南アジアも視野に入れて海外でのOEM事業展開や商業施設への投資などに取り組んでおります。

・中国国内OEM ・商業施設投資



決算レビュー

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	2,207,117	2,726,307
固定資産	17,424,632	17,678,992
有形固定資産	16,186,989	16,384,234
無形固定資産	14,893	16,669
投資その他の資産	1,222,749	1,278,088
資産合計	19,631,749	20,405,300
(負債の部)		
流動負債	4,167,555	5,484,446
固定負債	11,141,407	10,770,381
負債合計	15,308,962	16,254,827
(純資産の部)		
株主資本	△767,954	△940,636
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,764,310	△2,937,000
自己株式	△7,019	△7,012
その他の包括利益累計額	5,090,740	5,091,108
純資産合計	4,322,786	4,150,472
負債純資産合計	19,631,749	20,405,300

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	2,809,659	2,812,828
売上原価	2,114,240	2,082,852
売上総利益	695,419	729,975
販売費及び一般管理費	486,537	719,866
営業利益	208,881	10,108
営業外収益	63,524	12,838
営業外費用	146,265	161,638
経常利益又は経常損失(△)	126,140	△138,691
特別利益	64,814	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	190,954	△138,691
法人税、住民税及び事業税	18,481	14,307
法人税等調整額	△216	△581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172,689	△152,416
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	172,689	△152,416

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△462,301	△240,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,218	△97,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,780	121,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△1,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△112,435	△218,118
現金及び現金同等物の期首残高	919,966	978,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	807,531	760,667



daitobo 120年のあゆみ

おかげさまで大東紡織は2016年2月

当社は来年2月に創業120周年を迎えます。創業以来、進取の精神により毛織物モスリンを国産化し初めて海外へ輸出するなど、明治から昭和初期にかけて日本経済成長の牽引車となった繊維業界の中核企業となりました。その後の繊維不況を乗り越えて、現在では、商業施設事業やヘルスケア事業に進出するなど、新たなステージを開拓しつつあります。

これまでの当社グループのあゆみをご紹介します。

1896年～

日本初のモスリン製造を開始

日本で最初の毛織会社として設立。東京に吾嬬工場を操業し和装用品モスリンの国産量産体制をいち早く確立、日本を代表する企業となりました。その後も、沼津、名古屋に工場を開設し積極的な事業拡大を図りました。



1960年～

紳士既製服事業・アパレル事業への本格進出により急成長

当時最新の紳士既製服事業へ進出し、米国からの技術導入による業界最高峰の品質を誇るとともに欧米一流ブランドとの提携を進めました。さらに、婦人服アパレル事業へも参入するなどアパレル部門を柱に、高度経済成長期の追い風もあり急成長しました。



■ 1923年(大正12年)
名古屋工場操業開始

1800～

■ 1896年(明治29年)2月
当社創業

1900～

■ 1898年(明治31年)
吾嬬工場操業開始

■ 1918年(大正7年)
沼津工場操業開始

■ 1954年(昭和29年)
鈴鹿工場操業開始

■ 1965年(昭和40年)
海外提携ブランド
「Rockingham」スーツを販売

1925年～

不況・大戦の混乱期から戦後復興へ

昭和に入り市況が悪化し、その後大戦の混乱期を経て、戦後、いち早く量産体制の再興を成し遂げ日本経済成長の一翼を担いました。



に創業120年を迎えます。



現在

120周年を超えて未来へ

新たにヘルスケア事業本部を立ち上げる一方、繊維・アパレル事業の構造改革を断行するなど、持続的な事業基盤の構築を着実に進めています。当社グループは、120年の歴史と進取の精神のもとに、全社一丸となって皆様とともに新たな未来を刻み続けます。



1980年～

石油ショック後の不況からバブル期へ

石油ショック後の市況悪化で売上高が減少する中、寝装品の製造・販売事業をスタートし業績を下支え、その後バブル期に入り、再度、売上高が大幅に伸長するに至ります。



■ 2000年(平成12年)
日中合弁会社
【寧波杉杉大東服装有限公司】を設立

2000～

■ 1980年(昭和55年)
寝装品の製造・販売を開始

■ 1997年(平成9年)
複合型商業施設
「サントムーン柿田川」オープン

■ 2013年(平成25年)
中期経営計画 Beyond 120th
～120周年を超えて未来へ～
を策定

■ 2014年(平成26年)
ヘルスケア事業本部を新設
■ 2016年(平成28年)2月27日
創業120周年を迎えます

1990年～

複合型商業施設事業と 中国繊維事業への本格進出

バブル後の売上高減少期に、三島工場跡地を活用して複合型商業施設を開業する一方、中国へ進出して紳士服製造合弁工場を操業するなど、新たな事業に本格的に進出しました。



会社概要／株式の状況 (平成27年9月30日現在)

会社概要

創設	立	明治29年2月27日
資	本	1,500,000,000円
事	業	
所	本	東京都中央区日本橋小舟町6番6号
本	社	☎ 03 (3665) 7816
名古屋営業所		愛知県一宮市本町4丁目17番9号 (明治産業第2ビル)
		☎ 0586 (23) 4811
大阪営業所		大阪市中央区南久宝寺町2丁目3番6号
		☎ 06 (6262) 8322
グループ会社		大東紡エステート株式会社 新潟大東紡株式会社 上海大東紡織貿易有限公司 寧波杉京服飾有限公司 (持分法適用会社)

役員の状況

代表取締役社長	山内一裕
代表取締役副社長	野村利泰
取締役執行役員	菊地広明
取締役執行役員	三枝章吾
取締役執行役員	青木寛繁
取締役執行役員	澤田康伸
常勤監査役	加久間雄二
監査役	小田一穂
監査役	飯沼春樹
執行役員	市村明彦
執行役員	今井康

- (注) 1. 取締役澤田康伸氏は、社外取締役であります。
2. 監査役小田一穂氏および飯沼春樹氏は、社外監査役であります。
3. 取締役澤田康伸氏および監査役飯沼春樹氏は、独立役員であります。

daitoboコーポレートサイト「IR情報」のご紹介

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.daitobo.co.jp/ir/>



株式の状況

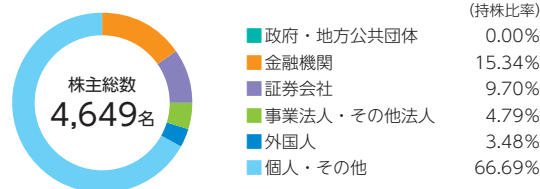
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	4,649名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三井住友信託銀行株式会社	1,478	4.93
株式会社SBI証券	969	3.23
楽天証券株式会社	882	2.94
三井住友海上火災保険株式会社	610	2.03
株式会社デベロップー三信	550	1.83
小泉芳夫	499	1.66
池本 治	474	1.58
肥田 篤	422	1.40
日本証券金融株式会社	403	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	368	1.22

(注) 持株比率は自己株式 (66,013株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。

大東紡織株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

